



党県議団予算修正案提出 赤字・県民負担 国際線

党県議団は3月23、1920年度予算に対し修正案を提出し、会派を代表し米田稔議員が提案説明に立った。

ずさんで不透明 高知空港国際線

- 一つ目は空港施設。
①高知龍馬空港に建設予定の国際線ターミナル建設費29億円の中、国負担分を説明できず県負担として予算計上。
- ②運営赤字額は毎年1億5千万円であるにも関わらず4900万円と説明。
- ③現在、ターミナルを運営している空港ビル会社は赤字前提の国際線ターミナルビルに手を出すと背任行為になるので運営主体

が不明のまま。毎年の赤字は県民負担させることになる。

こんなずさんで不透明な建設計画に、1億4千3百万円余の設計委託料の予算計上は到底認められない。県民にしっかり説明できるようにになった時点で予算計上すべき。

点数競争煽る 学力テスト体制

●二つ目の予算修正は、学力テスト経費。教師も子どもも点数競争に追い立てられ不登校や多忙化の弊害が言われている全国一斉学力テストに関わる予算、小中学校分3533万円、高等学校分5033万円の合計8566万円を減額修正しました。

県内では土佐町や大月町で学テ全校実施中止求める意見書が採択。東京都は2021年度から、都教委実施の学力テストの全廃を決定しています。

以上の予算修正議案を提出しましたが、少数否決となり、知事が提案した一般会計予算案が可決されました。

ビキニ核被災検証会

イン高知2020
フィールドワーク室戸



●3月29日、マグロ船の主力母港だった室戸に伺い、元船員や遺族の方々30名と交流を行いました。最初に訪れた「水かけ地蔵」群は近海からマグロ漁など遠洋漁業へと発展するに伴って増えた遭難事故で亡くなった船員を弔ったもので、台には船名と船員名が刻まれています。

●室戸水産会館では遺族の方や船員組合の皆さんと交流。「ビキニ裁判を支援する室戸の会」の濱田郁夫さんたちから、第七丸や第七孝丸の元船員さんなど三八名を訪ね被災実証を記す取り組みなどが報告されました。

オンライン にゃんでも通信

